

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○感情のコントロールにうまくいかなかったお子さんに対して、必要に応じ、クールダウンできる部屋を常に確保している事。 ○様々な職種や人材がいる為、多角的な視点で支援方法等について検討することができる。 ○お子さんの状況に応じて、個別、集団、運動と適宜組み合わせながら個々の目標達成の為、個別支援計画にそって支援をしている。	○マイナスなイメージの場とならないよう日頃から「困った時に大丈夫になる為の場所」=成功体験の積める場所であることをお子さんたちに伝えていく。 ○定期的に話し合いの場を設け、意見が集まるように工夫している。 ○個々のお子さんに対して支援に関わる職員が共通理解をするため、話し合いの場を多くもっている。	○クールダウンとして利用した際、記録を残し、職員間で共有できると良い。 ○他の機関や専門員などとさらに連携を図り、児にとってより良い支援となるようにしていく。 ○引き続き、気になったこと、気が付いたことを職員間で共有し問題解決していく。
2		○主に長期休暇を利用して、保護者の同意のもと郊外活動を取り入れている。	○事前、事後の学習を取り入れることで、活動に対する意識を高め、自主性を伸ばす。
3	○様々な分野の療育を視野に入れ、「レクリエーション」として楽しく取り組めるよう計画、実施している。	○集団、個別と形態を変えることで充実度を高めている。	○集団に参加できないお子さんに対して、職員が個別対応ができるよう事前に内容を把握しておく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○ホールの使い方、場所が広い分、動きも声も大きくなりがちである。 ○既存の建物をリフォームしての事業所の為、必要と思われる上手く機能出来る環境をつくるのが難しい。	○ホールが広く、声が響きやすい。 ○出来る範囲の改善しかできず、根本からの改善ができていない。	○可能な範囲で構造化、可視化する。 ○既存の建物をリフォームしての事業所の為、色々な不具合も出るためなかなか改善が難しい。
2	○睡眠不足や体調不良のお子さんが休める」場所の確保が十分ではない。 ○職員の高齢化、新卒者の人材が少ない。	○普段使う方がいない為、緊急の対応に戸惑う。	○個室と布団類の確保をし、職員間で周知する。
3	○カーテンをして対応しているが、トイレが男女一緒の空間である。当然ながら、個室に入ってしまうと職員の目が届かない。 ○長期休暇時は児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なる為、人材、物的配置が難しい。	○間違った認識でトイレの個室を使ったり興味本位で見ようしたり、目に届きにくい所なので対策が立てられていない。 ○長期休暇時の児童発達支援事業と放課後等デイサービスの開所時間が重なり、一度に20名お預かりし、職員の人数配置は変わらない為、普段の支援より手薄になってしまう。	○SSTで正しい認識をもってもらう。気になるお子さんにはトイレに入る前に職員が声をかける。 ○ボランティアやアルバイトをお願いし、安心安全な支援が行えるようにする。たくさんボランティアが集まり、交流も兼ねて活動が出来るよう、募集を工夫していきたい。